

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科		地理歴史	科目	日本史研究
教 科：	地理歴史	科 目：	日本史研究	
対象学年組：第	2 学年	1 組～	7 組	
教科担当者：	（1・2・3組：嘉藤岬、4・5・6・7組：真田一介）			
使用教科書：	（実教出版 日本史探究）			

教科	地理歴史	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	古代から現代までの日本史の基礎・基本的な事項の知識を深める。	
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	

科目	日本史研究	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	古代から中世の歴史の変化に関わる諸事象について、世界各地域の関連を相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。	古代から中世の歴史の変化に関わる諸事象について、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
		【学びに向かう力、人間性等】
		古代から中世の歴史の変化に関わる諸事象について課題を主体的に追究、解決しようとし、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立、また黎明期の日本列島における自然環境と人間の生活に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。	教科書や資料集のグラフや図を活用して、旧石器時代、縄文時代、弥生時代と経る中で、生活にどのような変化が起きたのかを理解できる。	【知識・技能】 旧石器・縄文・弥生文化の変遷について、自然環境の変化と関連させて理解している。 【思考・判断・表現】 旧石器・縄文・弥生文化について、史料・図版を活用しながら多面的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 旧石器・縄文・弥生文化について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	国家の形成と古墳文化、中国大陸・朝鮮半島との関係の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。	教科書の図版や写真を活用して、国家の形成過程、中国大陸や朝鮮半島のかかわりについて理解できる。	【知識・技能】 国家の形成と古墳文化、中国大陸・朝鮮半島との関係の変化についてまとめることができる。 【思考・判断・表現】 国家の形成と古墳文化、中国大陸・朝鮮半島との関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家の形成と古墳文化、中国大陸・朝鮮半島との関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	【飛鳥・奈良時代】律令体制の成立過程と諸文化の形成、隋・唐などの中国王朝の関係と政治や文化への影響について学ぶ。	律令体制の成立過程と諸文化の形成、隋・唐などの中国王朝の関係と政治や文化を学ぶ。	【知識・技能】 律令体制の成立過程と諸文化の形成、隋・唐などの中国王朝の関係と政治や文化への影響に関して理解できる。 【思考・判断・表現】 律令体制の成立過程と諸文化の形成、隋・唐などの中国王朝の関係と政治や文化への影響に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 律令体制の成立過程と諸文化の形成、隋・唐などの中国王朝の関係と政治や文化への影響に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	○	○	○	7
2 学期	【平安時代】貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現、東アジアとの関係の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。	教科書の図版とコラムを活用して、貴族政治の展開、平安期の文化、地方の武士の出現について理解する。	【知識・技能】 貴族政治の展開について理解する。 【思考・判断・表現】 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現、東アジアとの関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現、東アジアとの関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、東アジアとの関わりの変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できるように指導する。	貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、東アジアとの関わりの変化について学ぶ。	【知識・技能】 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、東アジアとの関わりの変化に関する基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、東アジアとの関わりの変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、東アジアとの関わりの変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。				6
	【鎌倉時代】武家政権の成立や展開、産業の発達、宗教や文化の展開、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響に関する基本的な知識を身に付けさせる。	武家政権の成立や展開、産業の発達、宗教や文化の展開、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響を学ぶ。	【知識・技能】 武家政権の成立や展開、産業の発達、宗教や文化の展開、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響について理解する。 【思考・判断・表現】 武家政権の成立や展開、産業の発達、宗教や文化の展開、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 武家政権の成立や展開、産業の発達、宗教や文化の展開、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	○	○	○	10
3 学期	定期考査			○	○		1
	【室町時代】武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の成立、多様な文化の形成や融合に関する基本的な知識を身に付けさせる。	教科書の図版を活用し、対外的な緊張感の高まりが国民国家形成の背景の一つであることに気づかせ、均質な国家をめざすために教育が重要な意味をもったことを確認させる。	【知識・技能】 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の成立、多様な文化の形成や融合に関して基礎的な知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の成立、多様な文化の形成や融合に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の成立、多様な文化の形成や融合に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	【織豊政権】織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し身に付けさせる。	教科書の図版やコラムを活用し、織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関して学ぶ。	【知識・技能】 織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	○	○	○	10
定期考査				○	○		1
							合計
							70